

謹賀新年



河辺林通信

建部北町の森から

2026年 1月号 No.333

↑「ヒュー♪」と美しい声をきかせてくれる、ルリビタキ(♂)

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

遊林会の活動は、1998年、愛知川の左岸、建部北町の河辺林で始めて28年目が終わろうとしています。活動を始めた頃に、切り倒した大木の年輪数えを子ども達としたことを思い出しています。その時の大木の多くは70~80年でした。切られずに残った大木は100年を超えています。

最近、森を歩いていると強風の後は大木の枝が落下していることが多くなってきました。ボランティア活動として保全活動をしていますが、高木に関しては限界を感じる事が多くなってきました。高木だけでなく約30年の間に森は変化してきています。これからも変化し続けることでしょう。現時点で20年後、30年後を見通してどのような森にすべきか。そのために今、何をすべきか考える時期にきているように思います。

みなさまのご協力をお願いするかと思います。どうかよろしくお願いいたします。 代表理事 井田三良



森の晩秋コンサート開催しました♪



2025年11月30日（日）に第45回 森の晩秋コンサートを開催いたしました。

オール滋賀レディースさんによる素敵な演奏を、84名の皆さまと枯葉舞い散る森をバックに楽しみました。『赤とんぼ』や『秋の歌つむぎ』など、この季節ならではの演奏に聴き入りました。今年も湖東信用金庫様の寄付をいただき、コンサートを開催できました。ありがとうございました。

最後になりますが、オール滋賀レディースの皆さま、素敵な演奏ありがとうございました！

ブログは
こちらから
どうぞ→



12/20 モリイコ！一日体験②「冬の森でデイキャンプ」

今年度のモリイコ！に当選できなかった方を対象とした体験イベントを開催しました。初夏と冬、2回とも参加してくれた方が多数でした。

ミッションはたき火でごはんづくりと森たんけん。柴拾いで「疲れた」という子に、「昔の子どもは毎日のようにしていたんだよ」と話すと、すぐに「疲れない」と発言を撤回。きっと、これしきのことで音は上げられないとでも思ったのかな？

緊張すること、気力・体力ともに使うこともありました。でも、最後のふり返りでは口々に「楽しかった」との感想を聞くことができました。短い時間ではありましたが、色んなことを感じてもらえていたら嬉しい限りです。

モリイコ！で、またみんなと出会えますように☆



↑適度な緊張感は大切ですね



↑今年は柴拾いもしたよ



↑協力もばっちり(人_人)v



↑エンジョイはっぱキャッチ☆

●12月の作業だより

第2土曜日（12月13日）

17名での活動となりました。
落ち葉かきを行いました。皆さんのおかげで、春には元気に草花が芽を出してくれると思います。



子どもと大人力をあわせて



グリーンバックに集めます



頼りになる少年です



落ち葉がとてもふわふわ♪



草花の上に落ち葉が...

→ 太陽の光が当たりました！

第3木曜日（12月18日）

18名での活動となりました。
ケヤキの林の林内整備。増えすぎた常緑樹の伐採を行いました。朝は寒かったのに、作業をすると体ポカポカです。



軽トラック8台分を伐採



伐採したツルがこんな感じに

第4水曜日（12月24日）

16名での活動となりました。
ケヤキの林の林内整備。前回に引き続き、ササやひこばえ、増えすぎた常緑樹の整理を行いました。



ササを払い足元明るく



木を選別しながら伐採

2026年1月の定例活動日

1/10 (土)	・観察会（9:00~10:00） ・林内整備など （10:00~12:00）
1/14 (水)	・林内整備など （9:00~15:00） お昼はご準備いたします
1/28 (水)	・林内整備など （9:00~15:00） お昼はご準備いたします

●内容については、事前にFacebookにて告知しております。

●天候や気温などの状況によっては、中止や時間短縮になる場合もございます。中止の場合は、ホームページやFacebookでお知らせします。

●12月の観察会

12月の観察会のテーマは植物の実について。やまのこやモリイコ！で子どもたちから「この実って食べられるの？」とよく聞かれたのでこれをテーマにしてみました。

どの実がだれ（鳥、動物）に食べられているのか、人間は食べられるのかや毒があるものについて少し紹介したあと、森に実物を探しにいきました。

これは食べられる実だよと紹介すると子どももおとなもおっかなびっくり食べてみて「美味しい」とか「すっぱい！」と歓声をあげていました。

※毒がある実もあるため、食べる場合は詳しい方の意見を聞いてから、自己責任で口にしてくださいね

●小さな地球

いつもなら晩秋には色とりどりの木の実、草の実を楽しめるのですが、今年は夏の雨不足のため結実しても干からびてしまった植物が何種類もありました。

ジャノヒゲの実晩秋になると宝石のラピスラズリのような瑠璃色に変わります。干からびた訳ではないのですが、これも雨不足のせいか実の色づきを遅く感じていました。ところが、森に来てくれた子どもたちは、大人の私の固定してしまった考え方ではなく、実の色が緑から瑠璃色に移り変わる姿をながめ「見て！地球」と見せてくれました。私の中に全くなかった発想と柔らかい心で自由に自然を楽しめる子どもたちの素晴らしい感性に感動したのと同時にこの時期の色づき、そしてこの子たちと森を歩いたからこそ出会えた奇跡の瞬間でした。森にはそんな出会いがあります。



↑シャシャンボの実を実食！



↑ツバキの堅い実は誰か食べるのかな？



12月号河辺林通信の記事訂正のお詫び

12月号の河辺林通信を発行いたしました。表面で湖東信用金庫様と滋賀銀行様の活動を紹介しましたQRコードに誤りがありました。湖東信用金庫様と滋賀銀行様ご覧いただいた皆さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

訂正した通信



湖東信用金庫様



滋賀銀行様



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年中は皆さまには大変お世話になりました。2026年も何卒よろしく願いいたします。

今年の冬はいつになく暖かく感じられ、夏も暑すぎたよなぁと思い出します。今年こそは穏やかな四季が戻って皆さんと自然をより楽しめればと願います。

(川原崎)

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003

滋賀県東近江市建部北町531

河辺いきものの森内

電話：0748-20-5211

メール：ikimono@e-omi.ne.jp